

研究課題：痙直型脳性麻痺児における日本語版 Edinburgh Visual Gait Score の信頼性と妥当性

1. 研究の目的

当センターでは脳性麻痺のお子様に対して整形外科術やボツリヌス毒素療法などの治療を行っています。これらの治療は運動能力の向上や歩容(歩き方)の改善を目的に行われており、運動能力の向上は当センターの結果からも明らかになっています。しかし、歩容については日本では適切な評価がなく評価できないのが現状です。そこで、脳性麻痺のお子様の歩行評価を作成して検討することが本研究の目的です。

2. 研究の方法

2000年4月1日から2021年3月31日の間に脳性麻痺と診断されており、4-18歳のうちにデジタルカメラで歩行評価と運動能力の評価を行ったお子さんが対象です。基本情報として、年齢・性別・麻痺の部位・運動能力の重症度などを情報取得し、歩行評価と運動能力評価の関連性を検討します。

3. 研究期間

倫理承認委員会承認日から2021年11月30日です。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録を基に臨床情報を用います。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

個人情報情報を匿名化した上で、外部(下記の研究分担者)へ資料を提供します。ビデオカメラで撮影された動画は、顔面をすべて黒塗りし、個人を特定できないようにしています。また、黒塗り加工は第三者が復元できないようになっています。研究成果は学会および学術雑誌に発表予定です。

6. 研究組織

研究責任者：埼玉県立小児医療センター保険発達部 主任 阿部広和
研究分担者：東京工科大学医療保健学部理学療法学専攻 楠本泰士
訪問看護ステーションあすか 小柳翔太郎
札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 樋室伸顕

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）